

(23) 自然共生サイト・内湾における 低次-高次生態系網モデルの開発

予算

環境研究総合推進費

概要

本研究は、自然共生サイト（民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域）として認定された藻場・干潟において、生物多様性を評価するとともに低次―高次生態系網と主要生物の生態や機能を推定し、藻場・干潟の保全と再生に向けた地域の取り組みに資することを目的とする。この目的達成のため、自然共生サイトに選定されている阪南セブン海の森（大阪府阪南市）での地曳網調査を2024年5、8、11、2025年2月に実施し、藻場・干潟に出現する魚類の多様性・現存量についてのデータを収集した。また、定量的な魚類採集調査が困難とされるワカメ場・ガラモ場において、小型ビームトロールネットを用いた調査の有効性を検証するために、2025年3月に大阪府岬町長松海岸地先での検証を行った。

担当者

木村祐貴・与那覇結衣・大道英次・横松宏幸